



絶滅しそう動物たちの分類

カテゴリー(絶滅の危険度)	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫
絶滅種 (Ex)	2	2	0	0	1	2
野生絶滅種 (Ew)	0	0	0	0	0	0
絶滅危機種 (Cr)	1	7	0	0	3	2
絶滅危惧種 (En)	0	7	0	1	1	6
絶滅危急種 (Vu)	4	16	1	0	3	11
希少種 (R)	15	39	0	0	14	389
地域個体群 (Lp)	4	0	1	3	8	1
留意種 (N)	1	1	0	1	7	19

絶滅の
恐れのある
種

◎コモチカナヘビ (VU)

国内では、北海道北部のサロベツ原野、稚内、猿払、浜頓別周辺域にのみ分布する。近年は原野の農地造成や牧場化により本種の生息環境が狭められている。また、海岸を走る釣り人の車による被害も多い。



◎オコジョ (VU)

かつては札幌にも生息していたが、現在は山地や、高山等の山岳域に生息し、その数は不明。森林の減少が個体数の変動に大きく影響しており、またイタチ・ミンクなどの外来種により圧迫されている。夏毛は茶色であるが、冬毛は白く換毛する。

◎エトピリカ (Cr)

日本では北海道の東部に繁殖地があり、魚網に引っかかり死亡するものが多く、また繁殖地近くで営巣するカモメ類によるヒナの捕食・エサを奪われる等で減少している。

◎タンチョウ (En)

十勝、根室地方に生息し、越冬期には釧路に集まるものが多いが、湿地が減少したために、冬期の給餌なくしては個体群の維持は不可能で、人への依存傾向がますます進んでいる。冬期の電線衝突による死亡のほか、最近では雛も含めて、交通事故(自動車および列車)による死亡が増加している。

北海道の希少野生生物 (北海道レッドデータブック 2001)



北海道では2000年に「北海道レッドリスト」を公表、2001年には「北海道の希少野生生物北海道レッドデータブック2001」を公表しました。

ランク基準はほぼ日本版レッドデータブックに準拠しています。

絶滅の恐れのある種として、哺乳類がアシカなど5種、鳥類がミズナギドリなど30種、爬虫類がコモチカナヘビ、両生類がキタサンショウウオ、魚類では、ミツバヤツメ、イトウ、ベニザケ(ヒメマス)、エゾホトケドジョウ、スミウキゴリ、シロウオ、カジカガリストアップされています。

「北海道の動物」

北海道に生息する哺乳類はエゾリス・エゾモンガ・エゾヒグマ・ゼニガタアザラシなど62種ですが、このうち絶滅の恐れのある哺乳類は5種です。鳥類ではシマフクロウ・オオワシ・タンチョウなどの405種が北海道に生息していますが、絶滅の恐れのある鳥類は30種です。爬虫類・両生類では北海道にカナヘビ・エゾサンショウウオなど24種が生息し、そのうち絶滅の恐れのあるものは2種です。

■北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック2001

編集 北海道環境生活部環境室自然環境課

■改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 -レッドデータブック-

編集 環境省自然環境局野生生物課